

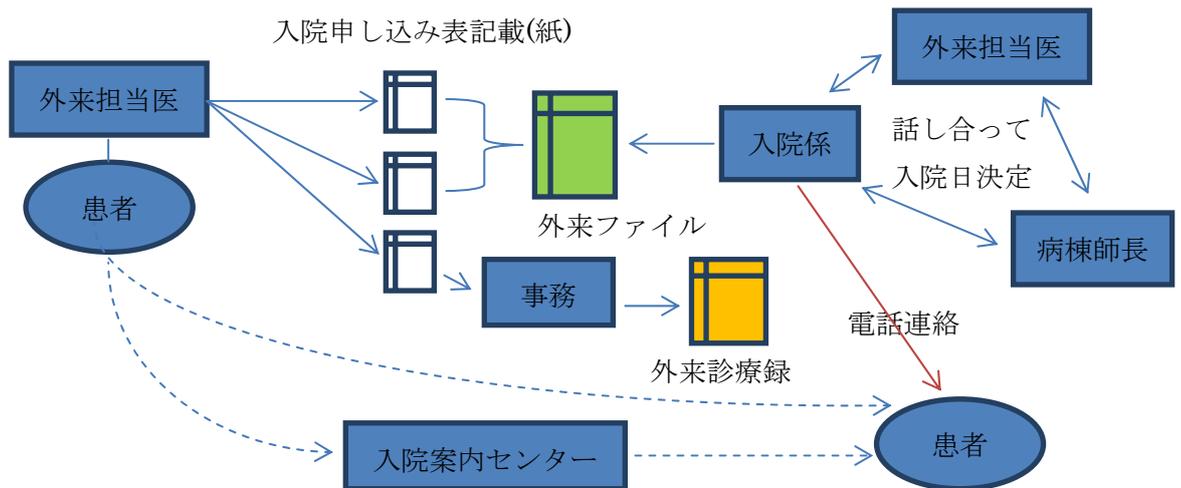
## 名大病院が行ったその後の改善

調査報告書の提言を受け、名大病院では主に以下のような改善を行った。

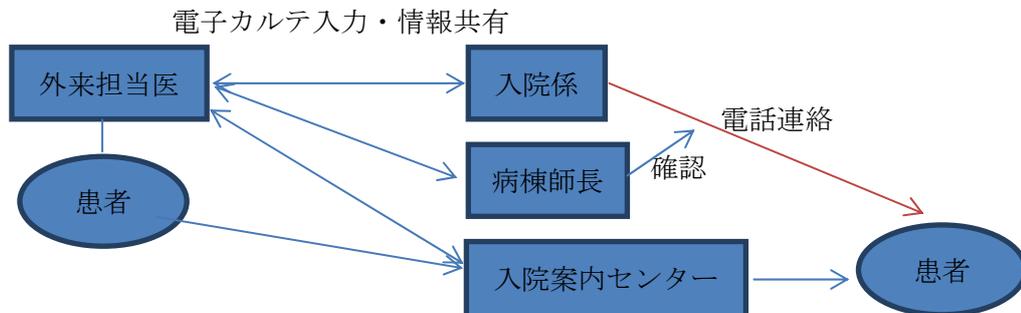
### (1) 入院予約システムの改善

- ・基本的に入院予約システムをすべて電子化し、紙媒体の関与をなくした。
- ・外来担当医が電子カルテ上で入院入力をすれば、外来担当医、入院係、入院予定病棟、入院案内センターなど、複数の部門でその情報を共有できるシステムとし、入院予定患者の動向を多部門で管理する体制とした。
- ・入院手続きの責任者やモニター体制が診療科によって異なるため、これらを標準化するためのプロジェクトを立ち上げ、MIT センターを中心に、より堅牢な仕組みを構築中である。

#### <事故当時>



#### <改善後>



(2) 患者参加の推進

- ・初回入院予定患者は入院案内センターを経由することを徹底し、医療従事者と患者間の情報共有、連携の支援を促進することとした。

(3) 地域連携の強化

- ・紹介された患者が受診したという情報を、直ちに紹介元に知らせる仕組みを導入しており、事故当時72%であった返信率は、ほぼ100%となっている。